

令和8年度 第1回 海老名高等学校 学校運営協議会 議事録

日時 令和8年6月16日（火） 14時～15時20分

場所 会議室

出席：板井、佐藤、倉澤、杉本、安齊、多田

欠席：打野、島仲 （敬称略）

※構成員は全員出席（広報Gはサブリーダーが代理出席）

- 1 開会
- 2 校長あいさつ
- 3 海老名高等学校運営協議会委員・構成員の紹介 … 各委員・構成員自己紹介
- 4 会長選出 … 倉澤委員を会長に選出
- 5 議題

○令和8年度学校評価報告書（目標設定）について

- ・各グループリーダーより、1年間の目標と取組の内容について説明を行った。

＜委員からの主な意見・質問＞

- ・大学への推薦入試の受験者数はどのくらいか。

⇒指定校制が90名、公募制が30名程度である。

- ・服装規定を改定したきっかけは何か。

⇒規定を変更してほしいという生徒の声があり、職員の中にも同様の意見があったので、生徒と保護者にアンケートを取り、最終的に職員会議で決定した。

- ・服装規定を改定した後の生徒に変化はあったか。

⇒生徒の実情に応じて規定を改定したという背景もあり、生徒から特に大きな反応はなく、服装が派手になるといったこともない。

- ・自治会の清掃活動は11/9に行うので、今年も協力をお願いしたい。

- ・自転車の交通反則に対する罰則が厳しくなったが、生徒には指導しているのか。

⇒全校集会で周知したほか、ポスターを掲示している。

○第45期生進路状況について

- ・第45期生は以前に比べると「進学準備」が多くなっているが、この要因としては、難関大学を目指す生徒が増えていることや、大学が合格者を絞り込んだことによる一般入試の難化が考えられる。（進路支援グループより）

#### ○令和7年度生徒による授業評価について

- ・本校の授業評価は、多くの項目で肯定的な回答となっているが、項目4「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた」と項目7「授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた」の2項目が県平均を下回っている。これを受けて今年度は「好奇心と探究心」をテーマにした授業研究を行っていく。(学習支援グループより)

#### ＜委員からの主な意見・質問＞

- ・本校では授業をどのように進めているのか。  
⇒教科書の内容を土台として、大学入試を意識した演習も随時取り入れている。学習した知識を活用したり応用したりすることにも興味があり、ペアワーク等の活動も活発である。
- ・第1回よりも第2回の方が肯定的な回答が増えているのはどのような要因か。  
⇒年間を通して、授業互観、授業改善、教科会での課題検討、研究授業等を行っており、その成果なのではないか。
- ・項目4と項目7の評価が低いという話があったが、誤差の範囲といえる。そもそも7つの項目が生徒から見ると同じような質問に感じられるのではないか。
- ・全体的に高い評価なので、項目4と項目7の評価が相対的に低いことを重く受け止める必要はないのではないか。

#### ○令和8年度不祥事ゼロプログラムについて

- ・内容については昨年度と同様である。毎月の職員会議の際にテーマを決めて不祥事防止研修を行っている。職員に自分事として捉えてもらうために、管理職だけでなく一般の職員にも講師を依頼している。(副校長より)

#### ○その他

- ・第2回の学校運営協議会は10月を予定している。本日欠席されている委員の方の都合を優先して日程を決めさせていただきたい。(副校長より)